

6. 行政の取組について

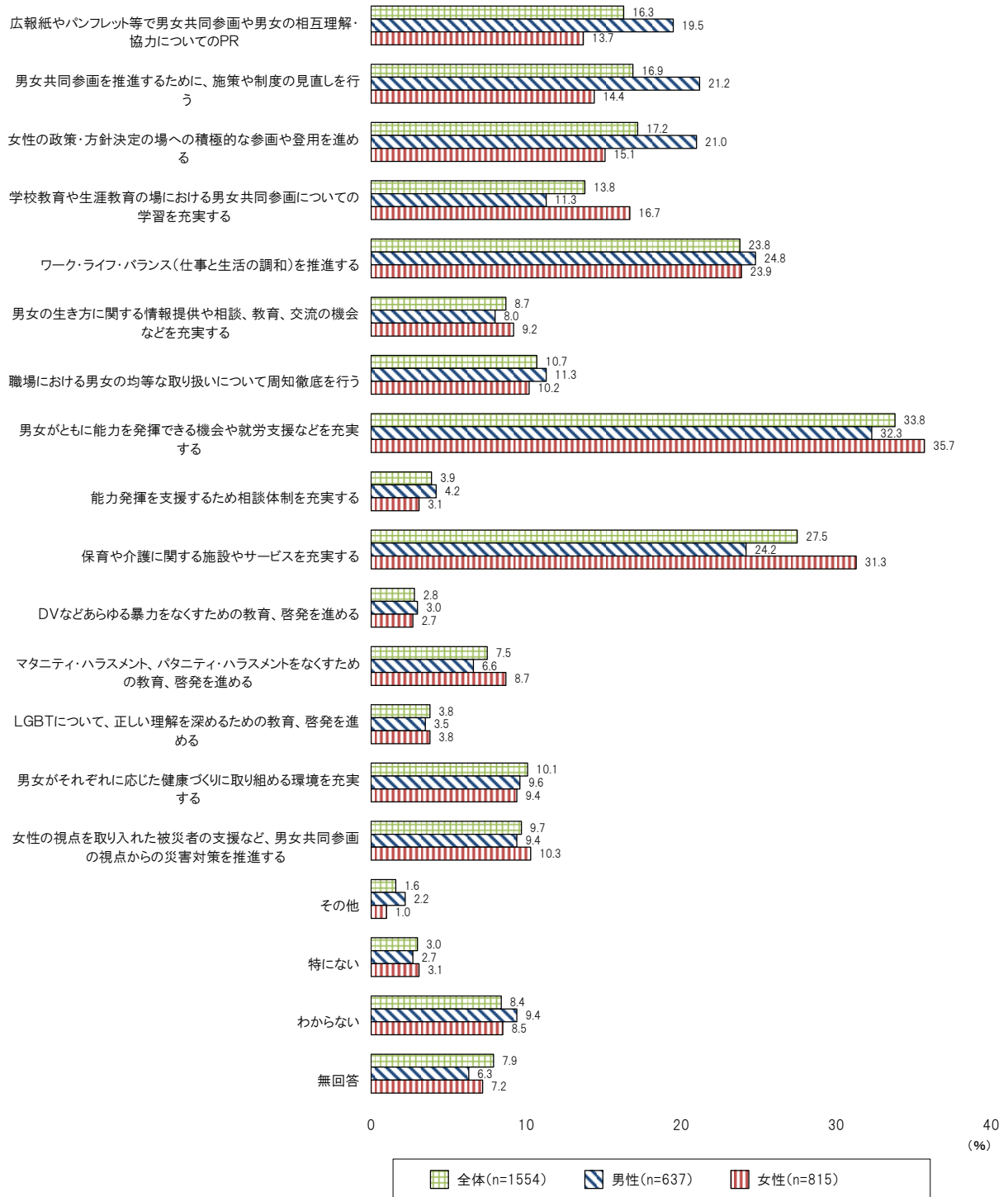
問 55 男女共同参画社会を実現するために、今後、松阪市ではどのようなことに取り組んでいけばよいと思いますか。(〇は3つまで)

「男女がともに能力を発揮できる機会や就労支援などを充実する」が33.8%で最も高く、ついで「保育や介護に関する施設やサービスを充実する」が27.5%、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進する」が23.8%となっている。

性別にみると、1番目に割合の高い項目は男女で共通であり、2番目に割合の高い項目は、男性は「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進する」、女性は「保育や介護に関する施設やサービスを充実する」となっている。男女の間で差が大きかったのは「保育や介護に関する施設やサービスを充実する」で女性の方が7.1ポイント高かった。

年代別にみると、1番目に割合の高い項目は、10歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「男女がともに能力を発揮できる機会や就労支援などを充実する」であり、20歳代、30歳代では「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進する」であった。

問55 男女共同参画社会を実現するために、今後どのようなことに取り組んでいけばよいと思うか



問55 男女共同参画社会を実現するために、今後どのようなことに取り組んでいけばよいと思うか

